

- **東北大学金属材料研究所が IBM の SUR アワードを受賞—ナノ・バイオ・プロジェクト研究に高性能サーバーを寄贈—**

- 東北大学(宮城県仙台市、吉本高志総長) 金属材料研究所は、このたび、IBM<sup>(R)</sup> Shared University Research Awardを受賞しました。

IBM Shared University Research (以下 SUR) プログラムは、大学の研究室など全世界の卓越した研究機関に IBM 機器の寄贈を行うものです。今回の表彰対象となったのは東北大学金属材料研究所の川添良幸教授によるナノ・バイオ・プロジェクトで、その先進性と将来性、特に医学と工学の学際的融合を図っている点が評価され、今回の受賞となりました。受賞した金属材料研究所には、副賞として、IBM コーポレーション (本社：米国ニューヨーク州、会長兼 CEO：サミュエル・J・パルミサーノ) から IBM の高性能 UNIX(R) サーバー「IBM@server pSeries(R) 655」が贈呈されました。金属材料研究所では、寄贈されたシステムを、独自開発の全電子混合基底法を基盤とした第一原理計算を活用したナノ・バイオ研究のために活用する予定です。

- IBM SURプログラムについて

IBM SUR プログラムは IBM 機器の寄贈により研究機関への研究支援を行います。このプログラムは研究機関と IBM が相互に感心のあるテクノロジー分野での研究の振興・発展を目的とし、大学と IBM との研究者の交流を活発にして大学と IBM の相互に価値あるリレーションの確立を期待するものです。本プログラム では年間百数十件の全世界からの応募の中から選考され、過去にはハーバード大学、マサチューセッツ工科大学、カーネギーメロン大学、ジョージア工科大学、ジョンホプキンス大学、スタンフォード大学、チューリッヒ工科大学、オックスフォード大学、北京大学などの研究室が受賞しています。日本では東京理科大学、東京工業大学、慶應義塾大学が受賞しています。

- ナノ・バイオ・プロジェクト\*について

川添教授の研究グループの独自開発による全電子混合基底法は、ナノテクノロジーの重要な研究方法である第一原理計算の1つで、グリッド技術を活用したスーパーコンピューターの連結による超大規模シミュレーション計算等を可能にします。これにより、シリコン技術に続いて、バイオや医療分野への適用が期待されるナノスケール物質の構造と物性予測の成果は世界的な関心を集めています。